

福岡

日米旅行者向け新サービス提供開始、福岡ハイヤーサービス

日米ハイヤー・リムジンネットワークに参画、ワンランク上の送迎ニーズに幅広く対応

福岡ハイヤーサービス（稻員英一郎社長、福岡市東区）は10日、来年の東京五輪開催に向けたインバウンド対応強化の一環として、全国の主要国際空港で営業するハイヤー・リムジン会社5社および米・ロサンゼルスのリムジン会社とともに「日米ハイヤー・リムジンネットワーク」に参画したと発表した。ネットワーク加盟会社とも連携しながら、訪日客や米国を訪れる日本人客を対象とした国際交流の新サービスを提供し、旅客の幅広いニーズに対応していく。

福岡ハイヤーサービスの新サービスでは、米国へ旅行する人が、全米のハイヤー・リムジンを日本語で手配できるようになり、24

時間体制の日本語による電話サポートも受けられる。今後は時差や為替、翻訳などの面でも旅行者をサポートする予定。同社は昨年8月、米・ロサンゼルスで30年以上の実績を誇る日系リムジン会社「ジャパンエグゼクティブリムジン」と業務提携を締結しており、安全・安心で信用度の高いハイヤー・リムジンサービスを全米で提供する。

また国内では、ネットワーク加盟会社である日の丸リムジン（東京）、日本交通（大阪）、つばめタクシーグループ（名古屋）、ヤサカタクシーグループ（京都）、東邦交通（北海道）の5社と協力し、地域をまたいた空港送迎のリムジンサービスを展開する。福岡ハイヤーサービスでは、ベンツS550ロングやロンドンタクシーTX4、ヴェルファイア、ハイエースグランドキャビンなど多様な車種を取りそろえ、日米の旅行者のニーズにあった送迎サービスの提供にあたる。料金はロンドンタクシーやヴェルファイア、ハイエースで2時間1万2440円～など。

さらに訪日客向けに、東京海上日動火災の

インバウンド旅行保険と、プロの写真家による日本の風景の写真データが付く「エグゼクティブプラン」を用意。写真データは乗車1人につき3枚までダウンロード可能で、写真をSNS等にアップして日本の旅の思い出を共有することができる。

大稻グループが2016年4月に設立した福岡ハイヤーサービスは、富裕層を中心としたインバウンド客や国内外のVIPの対応を専門にしており、英語が堪能で接客技術に優れた「コンシェルジュドライバー」が運行を担当。ホテルや旅館、料亭など地場企業とのコラボレーションにより、インバウンド客に日本の伝統文化や魅力を知ってもらう体験型オリジナルサービスも好評を得ている。同社は今後も異業種との連携による新サービスの開発や、若いコンシェルジュドライバーの確保を積極的に行っていくとしている。